



厳しい訓練の成果を発揮

第10回益城町消防団小型ポンプ操法大会

役場仮設庁舎駐車場で5月19日、町消防団による小型ポンプ操法大会が開催されました。

ホース延長からポンプ始動、放水までの動作を競うこの大会は、2年に1度開催されているもので、2位までに入賞すると郡大会への切符を手にすることができます。今回出場した8チームの選手たちは、仕事や家庭などの合間に積み重ねてきた訓練の成果を存分に発揮しました。

結果、優勝した第2分団第5班(馬水)と準優勝の第5分団第6班(田原)が郡大会への出場を決めました。



真剣な表情で俊敏に動き操法を披露する団員



工事の安全を願い鍬入れを行う西村町長

早く届けたい！ 地元食材の給食

学校給食センター建設工事の安全祈願祭

町学校給食センター移転地で5月16日、同センター建設工事の安全祈願祭が行われました。

町行政や議会、工事関係企業など約40人が出席して行われた式では、西村町長が鍬入れを行い、「地権者をはじめこれまで給食の提供に関わっていただいた皆さまに感謝します。益城産のおいしい米や野菜を子どもたちに早く届けたい」とあいさつしました。

給食は現在、3,300食のうち3,000食を熊本市に一部事務委託しています。(20ページに関連記事)

支援による復旧・復興 またひとつ

津森小と広安小の相撲場が再建されました

震災により大規模な被害を受けていた津森小学校と広安小学校の相撲場が、熊本江南ロータリークラブの資金援助を受けて再建され、5月12日に再建記念式典が行われました。

それぞれの会場でお祓いが行われ、広安小では文徳高校相撲部と両小学校の希望者による土俵開きが行われました。そうそうたる成績を収めている高校生たちに、子どもたちは最初戸惑っていましたが、次第に打ち解け、相撲の楽しさを実感していました。



再建記念式典のようす (右上：津森小、左下：広安小)

Best Smile

今月のベスト笑顔

